



平成 24 年度第 2 回 JASDI フォーラム(合同フォーラム)のご案内

『激増する糖尿病予備軍へのアプローチ』 —薬局店頭での試み、そして行動変容を促す患者へのフィードバック—

日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会(P-Co)
北里大学薬学部生涯学習センター
日本医薬品情報学会(JASDI)

日 時:2013 年 1 月 12 日(土)14:00~17:15

場 所:北里大学薬学部 1 号館コンベンションホール(東京都港区白金5-9-1)

近年、糖尿病患者は増加の一途をたどり、糖尿病予備軍を合わせるとその数は 2,000 万人以上に及びます(厚生労働省 2007)。糖尿病はある程度進行しないと症状を自覚しにくい疾患であり、その自覚症状のなさが医療機関への受診につながりにくい原因といわれています。激増する糖尿病予備軍に対してどのようなアプローチをしていくかは、薬局として、地域住民の疾病予防や啓発活動の役割を担うための重要な課題です。一方で、いくら医療者側が積極的なアプローチを行っても、患者自身が疾患や受診の必要性について理解・納得し、具体的行動につながらなければ意味がありません。

本フォーラムでは、はじめに薬局としての地域住民に対する試みや未受診者の心理について臨床現場の先生方にご講演いただき、後半は薬局の試みを患者(顧客)の行動につなげるための具体策について会場の皆様と考えていきたいと思ひます。

なお、本フォーラムは一般用医薬品セルフメディケーション振興財団(0SPF)助成事業です。

【プログラム】

14:00~14:05	オープニングリマックス 北里大学薬学部准教授・P-Co 学会常任理事	有田悦子先生
14:05~15:05	座長:北里大学薬学部教授・北里研究所病院薬剤部長 特別講演:薬局での糖尿病早期発見と受診勧奨の試み —指先 HbA1c 検査をベースとした医薬連携モデル「糖尿病診断アクセス革命」—	厚田幸一郎 先生
15:05~15:15	筑波大学大学院 内分泌代謝・糖尿病内科 准教授	矢作直也 先生
15:15~15:45	座長:(株)ファークロス・P-Co 学会理事 (仮)薬局での自己血糖測定(SMBG)サービスの取り組み	富澤 崇 先生
15:45~16:15	座長:帝京平成大学薬学部准教授・P-Co 学会常任理事 (仮)未受診者の心理—なぜ、受診しないのか?—	井手口直子 先生
16:15~16:30	東京理科大学薬学部教授・P-Co 学会会長	後藤恵子 先生
16:30~17:10	座長:北里大学薬学部准教授・P-Co 学会常任理事 東京理科大学薬学部教授・JASDI 幹事	有田悦子 先生 上村直樹 先生
	シンポジウム(パネルディスカッション) 行動変容を促す患者へのフィードバック —検査データ(情報)をいかに伝えるか?—	
	ゲストコメンテーター 朝比奈クリニック院長	朝比奈崇介 先生
	講演者 筑波大学大学院 内分泌代謝・糖尿病内科 准教授	矢作直也 先生
	(株)ファークロスしらすぎ薬局 薬局長	長沢伸吾 先生
	東京理科大学薬学部教授・P-Co 学会会長	後藤恵子 先生
17:10~17:15	閉会の挨拶	

参加費（当日会場にて）：2,000円 学会会員・非会員問わず

申込方法：日本医薬品情報学会（<http://www.jasdi.jp/>）よりお申し込みください。

参加申込 2013年1月10日（締め切り） 但し定員300名になり次第締め切ります。

本フォーラムの参加により下記の単位が取得できます。

医薬品情報専門薬剤師認定のための認定単位：5単位

単位認定：（財）日本薬剤師研修センター認定単位：2単位

本フォーラムは日本薬剤師会生涯学習PS領域3に相当します。

会場：北里大学薬学部1号館コンベンションホール（東京都港区白金5-9-1）につきましては下記にてご確認ください。

<http://www.kitasato-u.ac.jp/pharm/faculty/access/>

日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会ホームページからも申し込みできます。

<http://www.pcoken.jp/>